

令和2年度

第3回宝達志水町男女共同参画審議会

<日 時> 令和3年3月19日（金） 午後1時30分から

<場 所> 生涯学習センター「さくらドーム21」

2階 第1会議室

■出席者

<委 員> 田村副会長、勝二委員、井上委員、中村委員、荒井委員

<事 務 局> 坂井課長、上野課長補佐、丸山主事

1 開会

2 副会長あいさつ

3 議事案件

(1) 第3次宝達志水町男女共同参画行動計画進捗状況について
事務局が資料に基づき説明を行った。

(2) 第4次宝達志水町男女共同参画行動計画（素案）について
事務局が資料に基づき説明を行い、各委員の意見を伺った。

4 その他

5 閉会

午後2時30分 終了

(委員の意見等)

意見	委員（町審議会登用女性委員の数値〔令和2年4月1日現在〕について） ○最近では、避難所に女性の視点が入り入れられていないことで、避難した女性がひどい思いをしたことも話題になっている。町の市町村防災会議と市町村国民保護協議会は女性委員の割合が0%である。町の避難所対応も、女性の視点を取り入れて作成していかないと、災害時に大混乱を招くのではないかと。役場内の審議会の女性委員の数をもっと増やす必要があるのではないかと。目標値の35%と言わず、50%程度に引き上げるよう各課に要請していかないと、なかなか現状の体制を変えられないのではないかと非常に心配に感じる。別の会議に参加した際に、女性委員が0人の会議もあったが、女性の視点を取り入れるべきだという意見が出て、途中で女性委員を増やした。ただ、女性委員1人ではなかなか発言が憚れるようだった。
質問	委員（生涯学習課と関係各課の男女共同参画の推進における連携について） ○各課と男女共同参画の推進について、意見交換する機会はあるのか。
回答	事務局 ○男女共同参画の推進における生涯学習課と他の課の交流については、特定の会議はないが、月に一度開催している課長会議で、女性委員の積極的な選出や、男女共同参画行動計画の各課に割り振られた施策に沿って事業に取り組むよう依頼していきたい。
質問	委員（町審議会登用女性委員の割合の推移について） ○令和2年度は令和元年度と比較して、審議会における女性委員の割合は0.2%減少したということだが、昨年度に比べて特に改善された審議会と、反対に後退が著しかった審議会は何か。特に女性の登用が重点的に求められる審議会を明確にしないと、次に繋げられない。
回答	事務局 ○女性委員がいない審議会は、防災会議、国民保護協議会、文化財保護審議会である。女性委員の割合が増えたのは、社会教育委員会と総合戦略推進会議である。
意見	委員（参考資料の数値の表記順について） ○参考資料の（1）人口動態と（3）町行政機関の管理・監督職の実績は21年度から順になっているのに対して、（2）審議会登用女性委員の数値の年度だけが令和2年度から遡る形になっているので、どちらかに合わせてほうが良いのではないかと。
質問	委員（苦情処理委員の設置について） ○宝達志水町男女共同参画推進条例施行規則に、「苦情処理委員の設置」という項目があるが、現在委員はいるのか。設置しなければならないのか、それとも必ず設置しなくてもよいものなのか。規則中には、職務等かなり詳細に明記されており、その役割が重要なものであるように感じられる。
回答	事務局 ○現在、委員はいない。

意見	<p>委員（日本や世界における男女共同参画の最近の動向について）</p> <p>○新型コロナウイルス感染症や東京オリンピックの影響もあるのか、IOCの日本のトップが交代し、先日も演出の総括も交代した。</p> <p>数日前には北海道で同性の婚姻が認められることになり、日本の歴史にかつてなかったような男女共同参画やジェンダーに絡む出来事が起きている。学校現場では男子も女子もなくなってきている。地方誌には、寒い時期の女子のズボン着用を許可している高校が県内に8校（羽咋高校や桜丘高校を含む）あると書かれていた。これを機にとらえて、男女共同参画社会の実現に向けて、メディアや日常にこうした話題が取り上げられる時代になった。ヨーロッパでは、かなり高い割合で女性委員を登用する動きが出ている。地方の市長や会社の社長など、すでにはっきりと明言されている。そうした環境の中で国や地方の社会が動いている先進国が多くある。世界の中で日本は女性の登用率が122番目ととても低い位置にある。この世の中の動きを機と捉えて、令和3年度からの第4次計画に沿って、生涯学習課を中心に男女共同参画社会の実現に向けて頑張ってもらいたい。</p>
----	---